



日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会 (SC 全国ネットワーク) 令和 3 年度総会 レポート



去る令和 4 年 2 月 22 日（火）に開催された標記総会の会議内容についてお知らせします。

議題 1. 令和 4 年度総合型地域スポーツクラブ育成計画（案）について

事務局から、令和 4 年度日本スポーツ協会 総合型地域スポーツクラブ育成計画案及び予算案について説明した。

なお、本件は、3 月 2 日開催の令和 3 年度第 4 回地域スポーツクラブ育成委員会にて協議された後、3 月 4 日開催の当協会理事会において、承認を得ることで確定となる旨を併せて説明し、了承された。

<主な意見・質問>

発言者	内容
代表委員	登録料収入は何に使われるのか。
常任幹事会	SC 全国ネットワークの活動に関わる経費全般に充てられる。
代表委員	「地域スポーツ環境の基盤強化事業」について、令和 4 年度はどのような内容を想定しているのか。
事務局	令和 3 年度は「学校運動部活動との連携」や「子どもの体力向上」について、地域の実情に応じて取り組んでいただいたが、令和 4 年度は令和 3 年度の内容に加えて、登録・認証制度に係る取組も対象となるよう検討している。
代表委員	ブロック別クラブネットワークアクションの実施協力金について、未登録クラブが 5,500 円を支払って参加するのか疑問に思う。来年度の参加状況のみ

	て、再来年度以降の実施協力金の金額を再考いただきたい。 また、少額の参加費を支払うことで、部分的に参加できるようにするなど、参加しやすくする取組についても検討いただきたい。
代表委員	ブロック別クラブネットワークアクションについて、申込時点において登録手続き中の場合、実施協力金の金額はどのようになるのか。
事務局	登録手続き中のクラブも登録クラブと同等の扱いとすることとしている。
代表委員	登録・認証制度について、登録期間が11月1日から1年間となっているが、年度途中で登録期限が切れるのは課題があるので、改善して欲しい。
事務局	年度の途中で登録期限が切れてしまうのは課題と考えている。今後SC全国ネットワークの中で検討を進めていきたい。

議題 2. SC 全国ネットワークの取組について

事務局から、令和3年度のSC全国ネットワークの取組実績を報告した後、令和4年度の取組案について説明し、原案通り了承された。

【令和3年度取組の主な内容】

総合型地域スポーツクラブ育成プラン2018に基づく以下の5項目の取組実績。

- (1) 総合型クラブ登録・認証制度の実施に向けた取組
- (2) 中間支援組織の整備に向けた取組
- (3) 情報収集・提供体制の整備に向けた取組
- (4) クラブマネジメント人材の発掘・育成に向けた取組
- (5) 社会的認知度の向上に向けた取組

【令和4年度取組(案)の主な内容】

総合型地域スポーツクラブ育成プラン2018に基づく以下の5項目。

- (1) クラブ運営に係る支援体制の整備
- (2) クラブ運営を担う人材の強化
- (3) 活動施設の確保
- (4) 広報活動の充実
- (5) 全国的なイベントの創設

<意見・質問>

なし

議題 3. 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 諸規程の一部改定について

事務局から、総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度諸規程の一部改定について説明し、承認された。なお、本件は、来る3月2日開催の地域スポーツクラブ育成委員会において、承認を得ることで確定となる旨を併せて説明した。

<意見・質問>

なし

議題 4. 令和 4 年度代表委員およびブロック代表常任幹事について

事務局から、令和 4 年度の代表委員およびブロック代表常任幹事の選出状況について説明した。

なお、令和 4 年度の全国協議会役員の任期は、全国協議会常任幹事に日本スポーツ協会の理事が含まれることから、日本スポーツ協会役員の任期と併せる必要があり、令和 4 年度に限り、その任期は 1 年とすることとしている旨を併せて説明した。

<意見・質問>

なし

議題 5. (1) 日本スポーツ協会スポーツ推進方策 2023（仮称）の策定について (2) 男女共同参画部会の取組報告について

(1) 日本スポーツ協会スポーツ推進方策 2023（仮称）の策定について

事務局から、スポーツ推進方策 2023（仮称）の策定について説明した。また、総合型クラブ育成関係については、アクションプランである「総合型地域スポーツクラブ育成プラン 2018」の改定と併せて検討していくことを報告した。

<意見・質問>

発言者	内容
代表委員	障がい者のスポーツ参画は、重点項目の一つとするべきではないか。また、重点項目に記載の課題にどのように取り組んでいくのか具体的に記載する必要がある。
代表委員	高齢者と子どものスポーツが記載されているが、スポーツ習慣をつけるためにも、高齢者でない大人のスポーツ実施にも取り組んでもらいたい。
代表委員	「子供たちのスポーツ」の項目にスポーツ少年団との連携の項目があっても良いのではないか。

(2) 男女共同参画部会の取組報告について

事務局から、男女共同参画部会の取組報告として、都道府県協議会意識調査、先行事例調査、文献調査の結果及び今後考えられる各種取組について報告した。

引き続き、総合型クラブにおける男女共同参画の実現に向けて取り組んでいくことについて報告した。

<意見・質問>

なし

情報共有プログラム テーマ：学校運動部活動の地域移行について

情報共有プログラムの冒頭、スポーツ庁の久田係長より「運動部活動の地域移行に関する検討会議」に関する情報提供をいただいた。その後、9グループに分かれ「学校運動部活動の地域移行について」をテーマにグループディスカッションを実施し、各都道府県における取組状況や課題、解決策について意見交換を行った。

なお、情報共有プログラムの実施にあたり、参加者に対する事前アンケートを実施し、結果については、次ページ以降のとおり。

令和3年度SC全国ネットワーク総会情報共有プログラム

事前アンケート集計結果

回答期間: 令和4年2月3日(木)～14日(月)

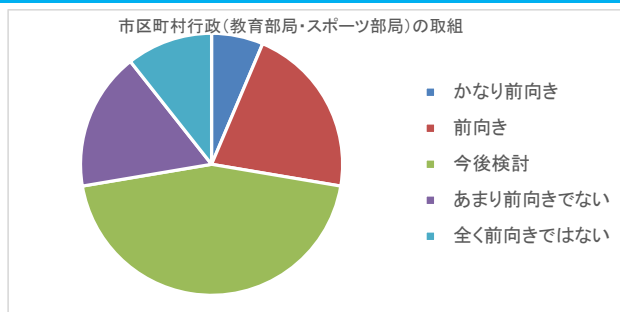
回答者: 代表委員

方法: オンラインフォームにて集計

回答数: 47件

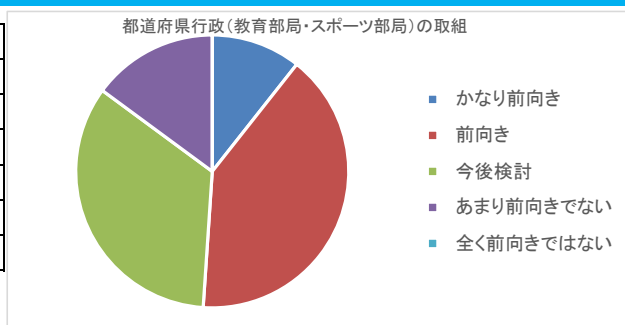
1. あなたのクラブの市区町村行政(教育部局・スポーツ部局)における学校運動部活動の地域移行に向けた取組(当事者意識)についての印象をお答えください。

選択肢	回答数	割合
かなり前向き	3	6.4%
前向き	10	21.3%
今後検討	21	44.7%
あまり前向きでない	8	17.0%
全く前向きではない	5	10.6%
合計	47	100.0%



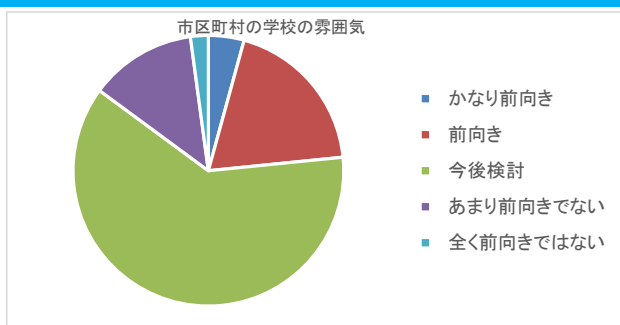
2. あなたの都道府県の行政(教育部局・スポーツ部局)における学校運動部活動の地域移行に向けた取組(当事者意識)についての印象をお答えください。

選択肢	回答数	割合
かなり前向き	5	10.6%
前向き	19	40.4%
今後検討	16	34.0%
あまり前向きでない	7	14.9%
全く前向きではない	0	0.0%
合計	47	100.0%



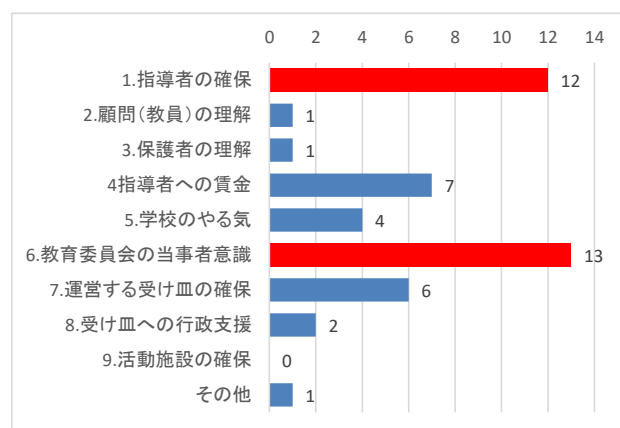
3. 学校運動部活動の地域移行は少子化や教員の働き方改革が背景にあります。あなたのクラブの市区町村の学校現場(特に中学校)の雰囲気はいかがですか。

選択肢	回答数	割合
かなり前向き	2	4.3%
前向き	9	19.1%
今後検討	29	61.7%
あまり前向きでない	6	12.8%
全く前向きではない	1	2.1%
合計	47	100.0%



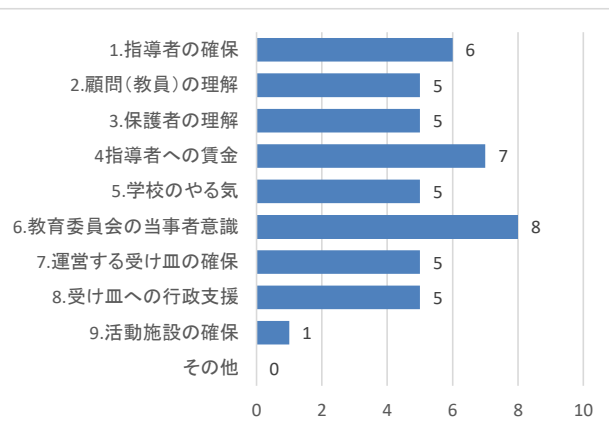
4. 学校運動部活動の地域移行を推進するための課題は何だと思いますか。重要と思われる順に下記から3つ選んで記入してください。(問6～問8にて回答)【1つ目】

選択肢	回答数	割合
1.指導者の確保	12	25.5%
2.顧問(教員)の理解	1	2.1%
3.保護者の理解	1	2.1%
4.指導者への賃金	7	14.9%
5.学校のやる気	4	8.5%
6.教育委員会の当事者意識	13	27.7%
7.運営する受け皿の確保	6	12.8%
8.受け皿への行政支援	2	4.3%
9.活動施設の確保	0	0.0%
その他	1	2.1%
合計	47	100.0%



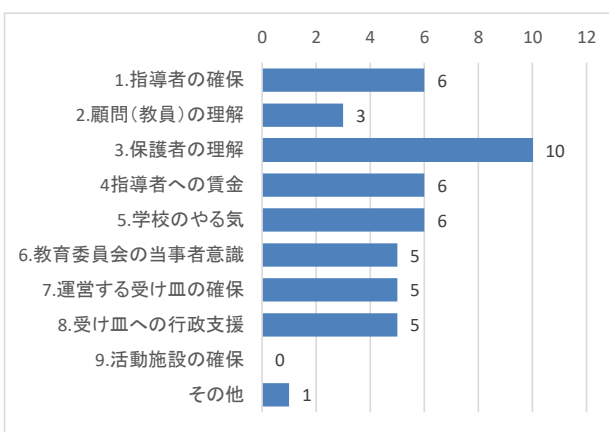
5. 学校運動部活動の地域移行を推進するための課題は何だと思いますか。重要と思われる順に下記から3つ選んで記入してください。(問6～問8にて回答)【2つ目】

選択肢	回答数	割合
1.指導者の確保	6	12.8%
2.顧問(教員)の理解	5	10.6%
3.保護者の理解	5	10.6%
4.指導者への賃金	7	14.9%
5.学校のやる気	5	10.6%
6.教育委員会の当事者意識	8	17.0%
7.運営する受け皿の確保	5	10.6%
8.受け皿への行政支援	5	10.6%
9.活動施設の確保	1	2.1%
その他	0	0.0%
合計	47	100.0%



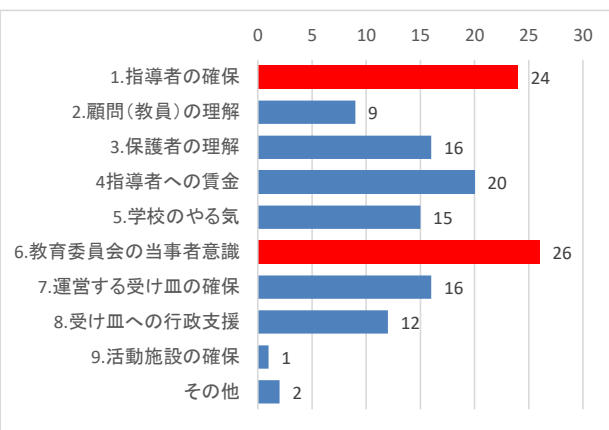
6. 学校運動部活動の地域移行を推進するための課題は何だと思いますか。重要と思われる順に下記から3つ選んで記入してください。(問6～問8にて回答)【3つ目】

選択肢	回答数	割合
1.指導者の確保	6	12.8%
2.顧問(教員)の理解	3	6.4%
3.保護者の理解	10	21.3%
4.指導者への賃金	6	12.8%
5.学校のやる気	6	12.8%
6.教育委員会の当事者意識	5	10.6%
7.運営する受け皿の確保	5	10.6%
8.受け皿への行政支援	5	10.6%
9.活動施設の確保	0	0.0%
その他	1	2.1%
合計	47	100.0%



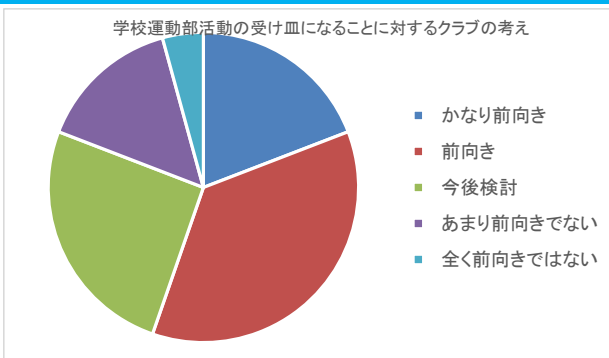
7. 学校運動部活動の地域移行を推進するための課題は何だと思いますか。重要と思われる順に下記から3つ選んで記入してください。(問4～問6を合算したグラフ)

選択肢	回答数	割合
1.指導者の確保	24	17.0%
2.顧問(教員)の理解	9	6.4%
3.保護者の理解	16	11.3%
4.指導者への賃金	20	14.2%
5.学校のやる気	15	10.6%
6.教育委員会の当事者意識	26	18.4%
7.運営する受け皿の確保	16	11.3%
8.受け皿への行政支援	12	8.5%
9.活動施設の確保	1	0.7%
その他	2	1.4%
合計	141	100.0%



8. あなたのクラブは学校運動部活動の受け皿として前向きですか？

選択肢	回答数	割合
かなり前向き	9	19.1%
前向き	17	36.2%
今後検討	12	25.5%
あまり前向きでない	7	14.9%
全く前向きではない	2	4.3%
合計	47	100.0%



令和3年度SC全国ネットワーク総会情報共有プログラム(事前アンケート)

学校運動部活動の地域移行を推進するうえでの課題

自由記述 まとめ

※事務局にて意見を分類。意見内容は、原文内容をそのまま掲載(一部体裁等は整えている)

1. 関係団体との連携体制の構築 (11県)

No	意見内容
1	学校、教育委員会、行政のスポーツ担当、スポーツクラブ、地域住民が同じテーブルで、この課題について話し合いできるテーブルをつくれるか。本県の場合、そのテーブルさえなかなかつけれないでいる。
2	全国一律に1つの基準で実施しようとするのには無理があります。都市部と郡部では、地域の受け皿が全然違いますので、状況に応じた4~5つのパターンがあると思います。その事例などを示して、教育委員会の行政職員や教職員、スポーツ関係団体等と共有する必要があると思います。
3	本県では、文科の指定を受け試行的(約3件)に実施はされていますが、その際「総合型スポーツクラブ」への打診は殆ど見られず、学校・教育委員会・PTA・各種競技団体との連携で実施されている。また、土日の部活動指導の今後について話し合いの場が設けられますが、そのテーブルに「総合型地域スポーツクラブ」が着くことはない。 このことは、総合型のPR不足による学校関係者の理解不足、行政担当者の理解不足に繋がっているのだと感じる。また、「総合型スポーツクラブ登録・認証制度」の方向性(なぜ必要なのか、登録によってどのようにかわるのか、等々)が見えないことも重なり、総合型スポーツクラブ関係者の、前向きな姿勢が見られないのが残念である。
4	どれが重要という順番をつけるよりも、全て必要となるため、地域の状況、特性に合わせてどのような順序、プロセスで進めていくべきかということを地域の中で議論、対話を進めるための動きがスタート段階では重要となると考えます。
5	保護者、学校、地域相互の理解が重要と思う
6	学校、保護者、受け皿団体、行政の連携が出来るかどうかを最重要ポイントと考えます。
7	受け皿に要望する内容他全ての依頼内容が不明過ぎ、各クラブへの依頼説明が出来ない十分な打ち合わせ会議が必要であると思う
8	生徒を取り巻く地域の関係団体(市区町村スポーツ行政、市区町村スポーツ協会、市区町村のスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなど)の連携による安心・安全な部活動推進及び受け皿・活動場所の確保、指導謝金を含めた行政支援
9	県・市行政の連携が課題。 県及び市のスポーツやスポーツクラブ担当が知事や市部局に変わったことで、学校を管轄する教育委員会と連携がとれていないように感じる。
10	行政、学校、地域、保護者の連携とやる気
11	スポーツ関係者全員の意識改革と理解及び行政との連携、さらに財源の確保、それぞれの地域特性に応じた体制づくり、さらには、スポ少も含めた一貫指導体制の構築

2. 関係団体との共通認識 (9県)

No	意見内容
1	学校区や地域全体の共通意識改革が最必要と思われる。
2	学校側と受け側のクラブとの運動部活動の目的や指導方法など、共通認識や連携が円滑に実施できるか
3	・学校(顧問・保護者)側の理解が必須。 ・学校は地域に丸投げではなく、学校側も協力しますのスタンスが好ましい。 ・顧問と外部指導者の指導方法や目指すもの、価値観等の共有が必要で、子どもたちが迷わずに、悩まずに活動(参加)できることが大切である。
4	中体連組織の組織改革と意識改革
5	地域及び行政(教育委員会等)の理解
6	学校運動部活動は変わっていかねばならないという機運の醸成
7	行政・教職員・保護者・スポーツ協会を含むスポーツ関係者・地域住民の「意識改革」
8	スポーツ関係者全員の意識改革と理解及び行政との連携、さらに財源の確保、それぞれの地域特性に応じた体制づくり、さらには、スポ少も含めた一貫指導体制の構築
9	中学校(中体連)が地域移行に対する意識が確立されていないのでは。また、都会と田舎の違い。

3. 受益者の経済的負担（5県）

No	意見内容
1	運営に伴う経費の、公的負担と受益者負担の内容や割合と保護者の理解
2	トータルの財源
3	保護者の理解として、学校で行っていた部活は無料であったが、総合型クラブに加入して活動する場合は会費等で有料となることが予想されるが、この部分の保護者への理解が必要である。
4	保護者の理解(受益者負担等)
5	指導者への賃金など受益者負担は必要だと思うが、経済的格差により困窮世帯の子が部活動に入らないことが内容、困窮世帯を支援する仕組みが重要

4. 指導者の質の向上・労働時間の確保（3県）

No	意見内容
1	・指導者の質、レベルの確認(ライセンス制) ・事故等へのリスクマネジメント ・トータルの財源
2	指導者の研修。青年期の生徒の精神的な成長の仕方、スポーツに対する理解、自立過程での心の特性など、研修生徒にどのように接し指導するかを習得していくこと。
3	指導員の仕事量の確保、夕方のクラブ活動の指導だけでは1日数時間のパートタイムとなりスポーツ指導専門の人を大量に確保する事は難しいと思います。

5. 生徒の要望・意見の反映（2県）

No	意見内容
1	当事者である学生の要望や考え、望む型が反映される環境。
2	児童・生徒の意見

6. その他

No	意見内容
1	国のリーダーシップ(中体連・高体連、そして高野連組織改革)
2	・住民の理解と協力。 ・大会の見直し。 ・部活動の意義の再確認。 ・部活動種目の多様化。 ・地域との融合。など。
3	対外試合(学校対抗)に関する中体連のルールを改定する必要がある
4	中学生のみならず、一般への施設開放
5	教員の働き方改革が前面に出るのは仕方ないが、それだけではやりたい教員だけが喜ぶのではないだろうか？そして、教員の移動後には部活動の衰退や廃部となるケースは何度も見聞きしています。このため、地域クラブ等を前面に出して教員は地域クラブ等の1指導者として地域指導者と協力しながら参加することによって、教員が異動しても当該部活動の継続性が確保できると考えます。学校教育と社会教育が車の両輪となることを期待します。
6	どこがこのプロジェクト動かすのかがはっきり見えていません。求心力となるコーディネーターがいなくてうまくいかないと思います。
7	先生の働き方改革は部活動の働き方についてもっと討論すべきだと思います。部活動をやりたいので先生になった先生もいます。本来は勉学が主な仕事かもしれませんが、子供を育てる方法(教育)はいくつもあります。そして、オリンピックの種目に学校部活動はいくつありますか？地域のスポーツをもっと反映することも重要と考えます。
8	枠組みの変化・変更に対して、当事者が明確なビジョン(複数パターン)を持つ事
9	運動部活動の地域移行について具体的なことが決まっていないため、市町村に話が下りていないように思う。市レベルで話を進めるために、具体的なことを決定してほしい。
10	受け皿団体への行政支援
11	まず、市町村行政が教員の労働改革の意識調査を把握しているか、また、月間週刊活動計画書の管理ができていないか、生徒が現状の部活動の在り方で満足しているのか(好きで楽しめているスポーツの部活動に所属しているか)、部活動は、好きなスポーツを伝える場なのか、教育の一環として、スポーツを通じたコミュニケーションを養う場なのか、スポーツ競技力向上を学ぶ場なのかを明確に、学校ですべきことと、地域ですべきことを整理し、融合できる仕組みが必要であると感じております。生徒の未来にとって何が大切なのかを、みなさんと考えることが持続継続に向けた大切な時間かと思えます。何よりも改善しながら進むことが大切で、固定した考えに囚われすぎないことも理解しながら改革していくことが必要かと思えます。事故対応についても考えていく、保険を適用したとしても、裁判事例のようなケースが発生した時に、任意団体のクラブと、法人格を取得しているクラブとでは、責任の負い方が違ってくるのではないかと思います。そうであれば、この件については、しっかり把握して取り組まないといけないと思います。